



KUNERUASOBI



あきやま保育室 令和7年8月号

お泊り保育や縁日でのお神輿など、年長のあけびさんがメインとなる行事が多く行われた先月。お泊り保育では、朝の登室時に親御さんとの別れに涙してしまう子もいましたが、18時からのお泊り保育が始まると「たのしいね!」「次は、なにををするの?」とキラキラと瞳を輝かせて参加していた子どもたち。夜のお楽しみ後は就寝もスムーズに入眠でき、朝も元気いっぱい起きて友だちや大人たちとふれあい遊びをしたりといつもの午睡明けとは異なる時間を過ごすこともできました。パパやママがいなくてもお泊りできた!楽しかった!等の経験から、あけびさんの子どもたちはお兄さんお姉さんの自覚が芽生えたのか、生活の場面でも以前よりグループ全体が落ち着き、その後もメリハリをつけて縁日の取り組みを頑張る姿に繋がっていました。行事を通して、めざましく成長を見せてくれる子どもたちの姿を目の当たりにして、私たち大人は嬉しく思います。先日の縁日では、保護者のみなさまにもご協力いただき大盛況で終えることができましたこと感謝いたします。ありがとうございました!

☆保育室の生活どうして?シリーズ☆

その160. 食育

保育室では、年間を通して食物の栽培・収穫、クッキングなど調理室と保育が協力して食育を実施しています。先日は、種から植えて育てたバジルを収穫し給食の Pasta に入れて調理したものを食したり、今月はトウモロコシの皮むきを予定しています。子どもたちが、本物の食物に触れ楽しみながら「食」に興味を持ったり、大切さを考えていけたらと思います。



☆夏のボランティア☆

この夏も学校が夏休みの期間に、小・中・高校生の生徒さんが保育室にボランティアにきてくださっています。このボランティアには小学4年生から参加でき、保育室の卒園者や毎年きてくれる子どもも多く、私たちは成長がみることができる夏の再会を嬉しく思っています。そして、なにより保育室の子どもたちにとってもお兄さんお姉さんに遊んでもらったりお世話してもらうことで、緊張したり甘えてみたりと大人とはまた違ったコミュニケーションの経験をしています。

文責 高橋

あきやまケアルームです!! 8月

7月は変わりやすい天候でしたね。それでもケアルームのお友達は去年と比べて体力がついて体調も安定し、予定通り登園できる事が増えていると感じています。

夏に入り、ケアルームでは水遊びやプール遊びで活動することが増えています。また先月は七夕会やみんなで七夕さまを歌いながら楽器の演奏をしたり、縁日があったり夏のイベントが盛りだくさんでした。縁日でのうちの看板はケアルームのみんなの手形でかき氷と金魚を作りました。

ケアルームでは先月から引き続き、保育室のお友達と過ごす合同保育をしています。はじめは緊張して、ケアルームの大人とくっついてたお友達でしたが、徐々に慣れてきて、保育室の同じ年齢のお友達とハイタッチをしたり、本と一緒に読んだり、手を繋いで散歩をしたり、楽しい時間を過ごしています。成長した姿の確認保育をぜひお待ちしております。8月のケアルームは夏休みに入りますが、お子様だけでなく親御さんも体調や怪我に気をつけて過ごしていただけたらと思います。

文責 金子

